

鉄鋼業界に根付く男性職場のイメージを払拭。

男性も女性も輝ける企業であり続ける。



1977年に設立。

グループ7社が連携し、デザイン性と高剛性に優れた特殊な形状のビルやトンネルなど、誰もが目にしたことのある建築やインフラの構造物を数多く手がけ社会に貢献

する。グループ各社より集まった若手社員による採用チームが、

新しい力を吹き込んでいる。

鉄鋼会社は男性の職場だと思い込みがちです。



インタビュー



酒井さん

実際は女性も現場など、さまざまな職種があり、能力と意欲のある社員を男女関係なくバックアップできる会社を目指しています。文系、理系も問いません。

例えば、サンフレッチェ広島の「エディオンピースウイング広島」というサッカースタジアムや大阪万博の大催事場など、大規模で長期にわたる設計から施工までの鉄鋼の現場管理の業務は、プロジェクト計画所属の女性が担当しています。全国各地の現場に常駐しながら富山の工場とやり取りをして、納品した製品を現地で確認しながら事業を計画通りに進めていく、とても重要な仕事です。



性別を問わず大規模プロジェクトで輝く



堀江さん

鉄鋼業界は奥が深く、業界の専門用語がとても多い。それに、いくつかのプロジェクトが並行して進められています。先輩たちの姿を見ると、男女関係なく学びつづける意欲が何より大切だと実感しています。

新入社員の加藤さんは、溶接も学んでいるそうですね。



インタビュー



加藤さん

品質管理の担当で、製品の仕上がりをチェックしているのですが、溶接や穴あけ、ガスでの切断など、新人研修で学んだことをもっとやってみたいと上司に相談したら、実際の工場で教えてもらうことができました。現場をよく知ることで仕事の精度を上がると考えたんです。



酒井さん

加藤さんは溶接がとてもうまく、指導したベテラン社員が喜んでいました。男女関係なくやってみたい思いは尊重されますし、ウェルカムです。

採用プロジェクトチームを発足してから、男女問わず学生からの応募が増えているそうですね。



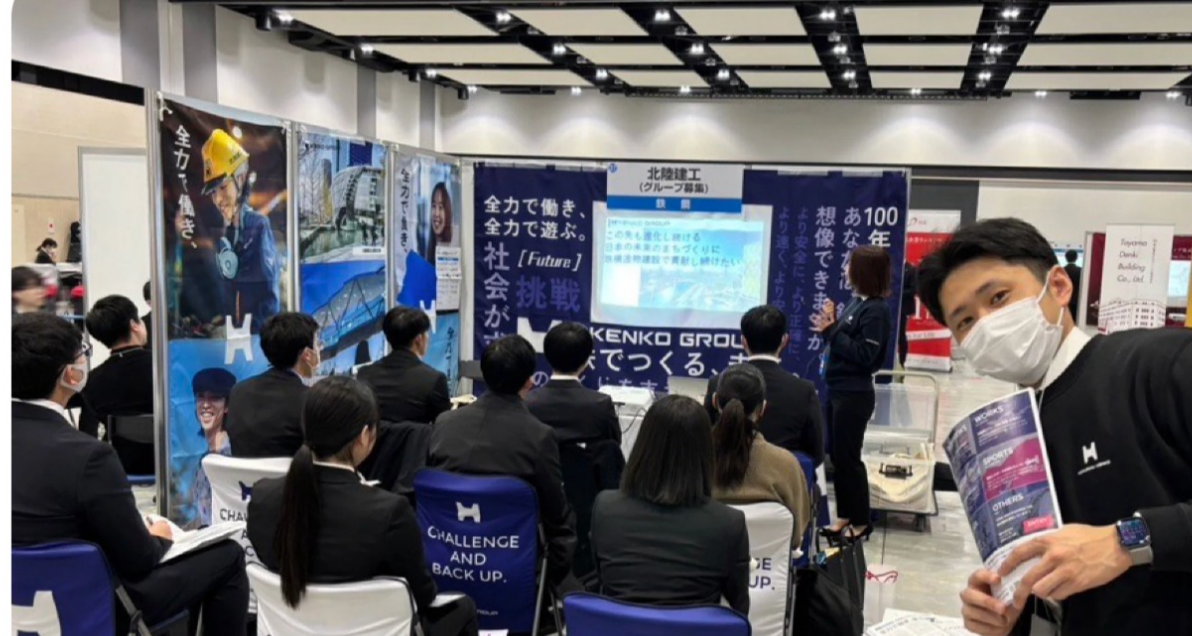
インタビュー



酒井さん

私自身就職活動をしている時に、ちょっと年上のかしこまってスーツを着ている人がいる説明会のブースって入りづらかったんですね。

「鉄鋼業界や採用担当者＝男性主体」のイメージを払拭し、学生に近い目線で仲間を探しに行こうと若手中心で始めました。熱意のある男女9人がグループ企業各社から集まり、本来業務と兼務しています。メンバーもどんどん世代交代していく予定なんですよ。



採用チームが企画した企業説明会の様子



瀧本さん

各グループ企業から集まることで、学生さんには現場のことをしっかり伝えられ、自分と合う仕事かどうかリアルに感じてもらえる。採用側も学生さんと直に会えるいい機会です。



酒井さん

採用のミスマッチを防ぐことができ、入社後も知っている人がフォローできて安心です。採用チームの仕事自体に学生さんが興味を持ち、取組みがすごいねという声もいただいています。

最近では社内の雰囲気も変わったとか。



インタビュー



桜井さん

私が入社した7年前と比べて、若い人が増えて、今では20代の社員が年齢構成で一番多く、とても活気が出てきたことですね。



酒井さん

グループスローガンとして、「チャレンジ&バックアップ」を掲げていて、それがうまく体现されています。合同説明会やインターンシップの企画などは若手に一任され、経営層が性別に関係なく個人の活躍のためにしっかりバックアップしてくれますから、恐れることなくさまざまなことにチャレンジできますね。

性別や世代ではなく「個人」を尊重する姿勢が、無意識の思いこみを防ぐことにつながるかも！？



アルカモ

その他の取組み・企業情報はホームページをご覧ください。

